

NOTSサマーフェスキャンプ

- 開催日 2019年8月1日～8月3日
- 対象 通年型プログラムに参加の年中から中学生
- 会場 国際自然大学校日野春校
- ディレクター名 塚原教弘（わか）

■キャンプのねらい

サイコー!! と思える3日間を自分たちの手でつくる
そのために“やってみたい”ことを自分たちでカタチにする

■同行スタッフ（キャンプネーム）

アポロ、こばりん、がみがみ、しばていん、カナダ、ざっきー

■活動内容

<1日目>
集合、移動
日野春校の探検
カレーライス作り
作戦会議

<2日目>
川遊び／上流探検
お昼寝タイム
出し物決め
バースデーケーキ作り
NOTSサマーフェス
（キャンプファイヤー）

<3日目>
虫捕り
ふりかえり
移動、解散



日野春校に到着後“やってみたい”
ことを探しに探検に行きました。



個性あふれる“やってみたい”こ
と、これをカタチにしていきます。



カレー作りは火おこしからスタート、
ドキドキのチャレンジでした。



1日でこんなにキョリが縮まりました、
仲良くなるのはあつという間！



2日目の朝食、机を囲んでみんなで
食べます。まるで大家族のよう。



思う存分、川遊び！水をかけ合ったり、
流れに身を任せてみたり。



大きなタイヤのチューブはアトラク
ションのようで、大人気でした。



大活躍のフェスタオル、このキャン
プだけのスペシャルアイテムです！



サマーフェス（キャンプファイ
ヤー）に向けて踊りの練習だ！



出し物の練習、幼児と中学生のコラボレーション、息ぴったりです。



待ちに待ったフェス、キラキラ光るアイテムをつけてフェス会場へ！



点火、色とりどりの灯りに囲まれたフェス会場。



炎にも驚きの仕掛けが、なんと7色に。子どもたちも驚きの表情。



出し物で盛り上がりました！



出し物の発表。緊張したけれど、よくがんばりました。



みんなで決めた約束、自分たちで居心地のよい場所をつくりました。



ふりかえり、心に残ったことは様々で、どれもステキな思い出です。



16人で過ごした大家族のようなキャンプでした。

■キャンプのエピソード

「大家族のようなアットホームなキャンプ」

1番年下は4才から1番年上は15才まで、およそひと回りちがう参加者が1つ屋根の下で3日間キャンプをしました。共通点は“NOTSの年間コースに参加していること”外遊びが好きで、昆虫が好きで、キャンプが大好きな子どもたち、お互いに興味惹かれるものが同じで、あっという間に距離が縮まりました。

さらに、年齢の幅が楽しみを広げてくれました。小さな子どもたちはその無邪気さでみんなを笑顔にしてくれたり、パイオニアコースのお兄ちゃんは年間コースの経験を活かして洗い物を簡単にする工夫を教えてくれたりと1人1人の持ち味が発揮されたキャンプでした。そして、みんなで食卓を囲む様子はまるで大家族での食事のようで、アットホームなキャンプになりました。

「自分たちで考えた出し物でみんなを笑顔に！」

キャンプのテーマは“サイコー!!”と思える3日間を自分たちで手で作ること”幼児や低学年の子どもたちには難しいテーマだったかもしれませんが、NOTSサマーフェス（キャンプファイヤー）の出し物では、自分たちで考えて練習をした出し物でみんなを笑顔にしてくれました！

・替え歌つきで“チューリップ”を踊ったチーム
・お題を考えて“命令ゲーム”を披露したチーム
・“マジカルバナナ”にチャレンジしたチーム
3つの出し物を披露してくれました。そして、他のメンバーは発表をあたたく見守っていました。このようなステキな時間をつくることができたのは、1つ屋根の下でみんなと過ごした時間があったからだと思います。みんなを笑顔に、幸せな気持ちにさせてくれたサマーフェスでした。